

平成30年度(2018)  
小野町立小野新町小学校  
学校経営・運営ビジョン

学校経営の基本理念  
子ども一人ひとりのよさや可能性を見つけ、それを伸ばさせる  
創意に満ちた“宝探しの教育活動”を推進する。

教育目標  
自ら学び、心豊かで、たくましい子どもの育成

めざす子どもの姿

一人ひとりの能力や特性に応じた教育ができる学校

- 明るく力強く活気に満ちる学校
- 地域に根ざし着実に積み上げる学校

めざす学校の姿



めざす教職員の姿

一人ひとりのよさや可能性を見つけ伸ばせる教職員

- 心身ともに健康で、自己研鑽に励んで己を高め、実践する教職員
- 地域のよさを知り、保護者や地域住民と協力し合える教職員

県の基本目標

「ふくしまの和」で奏でる、こころ豊かになくましいんづくり

- 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- 豊かな教育環境の形成

町の重点目標



町の重点目標

生きる力(確かな学力、心豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力)を培う

- 1 安心して学べる教育環境の整備
- 2 健やかな成長を目指す幼児教育との連携
- 3 確かな学力の向上を図る学校教育の充実
- 4 特色ある学校の創造

地域や家庭との連携と融合

教育信念の確立と研修に励む教師

自ら学ぶ子どもの育成 (知)

- 学びの習慣を身につけ、学んだことを活用できる子どもを育てる。

重点目標

- 努力事項及び取組内容
- **よさや可能性を生かし、主体的・対話的で深い学びを実現する日々の授業の充実(福島県「授業スタンダード」の具体的実践)**
    - ・言語活動の充実(書く・話す)・めあてとまとめの整合性
    - ・授業の基礎基本の徹底(発問・板書・ノート指導)・何事3度
  - **基礎・基本の徹底と学力の向上**
    - ・学力調査等による実態把握
    - ・学びの習慣化(家庭学習支援)
    - ・グランドデザインの具体化・計算コンテスト・漢字検定
  - **一人ひとりの能力や特性に応じた教育ができる環境づくり**
    - ・特別支援教育の充実
    - ・学びの支援体制づくり(取り出し指導)
    - ・T T、教科担任制、交流・交換授業・全教員の組織的指導
    - ・図書館教育の充実
    - ・特別支援員・支援ボランティアの活用
  - **教員研修の充実による指導力の向上と授業の充実**
    - ・授業スタンダードを具現する共同研究(算数科)
    - ・研修の機会と場の確保
    - ・外部講師を招いた研修の充実
  - **学んだことを活用し、表現できる場の設定と支援**
    - ・新小まつり
    - ・各種集会での発表
    - ・各種コンクール参加等

- 達成目標
- 子ども一人ひとりのよさや可能性を見だし、学びがいのある学習課題を設定したり、自分の考えをもたせる場を保障したりした日々の授業の充実を通して、思考力判断力表現力を育成します。
  - 学力の実態を的確に把握し、その結果に基づいた指導・支援や定期的な実態把握テスト等によって、基礎基本の徹底を図ります。
  - 特別支援学級と通常学級の連携を図り、能力や特性に応じた適切な指導ができる体制と環境づくりに努めます。また、学級担任制にとらわれず多くの教員で一人ひとりのよさや可能性を生かすことができるような指導体制を工夫します。
  - 教育のプロとして、学習指導力・生徒指導力の向上に努めます。
  - 学校での学びを発信できる機会と場を積極的に設け支援します。

心の豊かな子どもの育成 (徳)

- 自他のよさを認め合い、思いやりの心で行動できる子どもを育てる。

重点目標

- 努力事項及び取組内容
- **道徳教育の要としての道徳科の授業の充実**
    - ・考え・議論する道徳の授業の実践(質的変換・量的確保)
  - **思いやりや学びの心をはぐくむ異学年活動の充実**
    - ・清掃活動
    - ・縦伸集会
    - ・幼小、小中交流
    - ・委員会活動
  - **キャリア教育の充実**
    - ・人間関係形成能力の向上
    - ・意思決定能力の向上
  - **教育環境の整備と充実**
    - ・きれいな学校づくりプロジェクトの推進
    - ・施設設備の安全・花壇等心安らぐ環境づくり
    - ・変化のある掲示
  - **豊かな体験を通じての内面に根ざした道徳性の育成**
    - ・宿泊学習
    - ・ボランティア活動
    - ・夏井川清掃
    - ・自然体験活動
  - **校外学習**
    - ・地域人材との交流や外部講師による学びの場
  - **自他のよさや違いを認められる心の育成**
    - ・教師と児童、児童相互の信頼関係
    - ・学級づくり
    - ・外国語活動を通じた異文化交流
    - ・Q-Uテストの実施と活用
  - **人間としての正しいあり方の理解と実践**
    - ・生命の尊さ
    - ・あいさつの励行
    - ・教育相談の活用
    - ・社会生活上のきまり

- 達成目標
- 年間35時間(1年は34時間)の道徳科の授業を通して、年間計画とともに実態に即した価値内容の指導を行います。
  - 様々な異学年交流を通して、学年・校種が異なるからこそ得られる心の成長(思いやりや学びの心)を促します。
  - 整った教育環境で、美しさを感得できる心の育成に努めます。
  - 豊かな体験活動を通して、教室の学習だけでは得られない実感を持った学びや気づきを促します。
  - 自他のよさや違いを認められる学級づくりを進め、信頼関係を築き、人間関係を深められるようにします。
  - 基本的な生活習慣や社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、正しく行動できるようにします。

たくましい子どもの育成 (体)

- 心身ともに健康で、夢をもって生き生きと生活できる子どもを育てる。

重点目標

- 努力事項及び取組内容
- **体育科の授業の充実と年間を通じた体育活動による体力の向上**
    - ・体力テストの結果を生かした体育科授業の充実
    - ・運動身体づくりプログラムの実践
    - ・年間を通じた運動奨励(マラソン・水泳・なわとび)
    - ・特設部活動(陸上・水泳・駅伝)
    - ・各種行事・大会等への積極的な参加の奨励と称賛
  - **心身の健康の保持増進に係る予防的な取り組みの充実**
    - ・基本的な生活習慣の確立(早寝早起き朝ご飯)
    - ・教育相談の活用
    - ・疾病異状の早期発見と早期治療の勧告(齲歯治療、肥満解消)
  - **生きる上での基本となる食育の推進**
    - ・フッ化物洗口
    - ・体育科家庭科等での指導
    - ・専門家による食に関する指導
    - ・給食センター等関係機関との連携
  - **“自分の命は自分で守る”をキーワードにした安全指導の徹底**
    - ・交通安全
    - ・避難訓練
    - ・不審者対応
    - ・危険箇所対応
    - ・スクールバスや自家用車送迎時の安全確保
  - **“遊び”を通して心身の健康づくりと体力の向上**
    - ・外遊びの奨励
    - ・岩石園
    - ・運動遊具の効果的な活用

- 達成目標
- 新体力テスト等で体力の実態を把握した結果に基づき、各自に目標をもたせ、よさや可能性を伸ばし、課題を補強・補完する指導を通して、前年を上回る体力をつけます。
  - 走り・持久力の向上に年間を通して意図的に取り組みます。
  - 各種行事や大会等への出場をめざした取り組みを充実させます。
  - むし歯治療率の向上と肥満解消に向けた個別指導を充実させます。
  - 家庭との連携を通して、朝食摂取率のさらなる向上とともに、バランスのとれた食生活を促していきます。
  - 外部講師を招いた交通安全、防犯教室、避難訓練の意図的・計画的な実施と適時性のある個別指導で“事故0”をめざします。
  - 遊びを通して心身ともに健康で過ごせるようにします。

地域と共に育む開かれた教育活動